



Don't worry.

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

A6-1 タンパク質クライオ電子顕微鏡構造解析支援

東北大学 / 理化学研究所

よねくら こうじ 米倉 功治 先生 Koji Yonekura

現在の所属機関：東北大学 多元物質科学研究所 教授 / 理化学研究所 放射光科学センター 生体機構研究グループ グループディレクター
クライオEMを豊島近先生の下で学ぶ。東京工業大学大学院卒。ERATO 研究員、UCSF Keck fellow 等を経て現職。
趣味：登山、猫をかわいがること、釣り、温泉入浴、物理の勉強。

試料調製から構造精密化まで実現

ワンストップ窓口の3名に限られる掲載数のため、本課題ではホームページから、理研の眞木さおり、東北大の濱口祐と代表者しか選べませんが、理研には高場圭章、川上恵典、内藤久志、東北大には黒河博文、海原大輔らのエキスパートが揃っています。二刀流、三刀流の測定技術を駆使し、試料調製から構造精密化まで実現する豊富なタレントを誇ります。このファンタジスタたちが、難しい課題を通して、切磋琢磨し、日々、進化させていただいています。技術伝承、人材育成にも力を入れています。

医学、創薬、生命科学に限らず、物質・材料科学なども含め、一筋縄では行かないいろいろな問題に取り組みます。申請の際は概要欄に希望する研究者の名前もお知らせいただくと嬉しいです。メンバーのプロフィールは下記の通りです。Don't worry. 困難を抱える研究者からのご相談をお待ちしています。

クライオ電顕を中心はずっと研究してきましたが、遠回りしても思いがけず役に立つことがあり、研究活動に無駄は無いと実感しています。

注目されていない研究が

大きく化けるのも経験してきました。

希望をもって挑戦を続けていきたいです。



理研 放射光科学研究センター



まき さおり 先生 Saori Maki-Yonekura

クライオ EM をずっと続けてきたが、最近、XFEL なども研究に取り入れています。2009 年 Ernst Ruska prize を代表者と共同受賞。



たかば きよふみ 高場 圭章 先生 Kiyofumi Takaba

京都大学大学院卒。理学博士。TAO ヘルスライフファーマ研究員、理化学研究所特別研究員を経て現職、基礎特別研究員。主に結晶構造解析を担当。モノの形の多様性に触れたい。



かわかみ けいすけ 川上 恵典 先生 Keisuke Kawakami

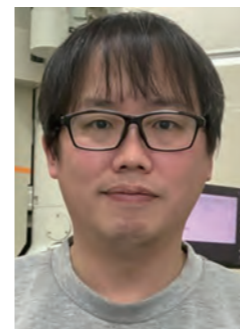
光合成・生化学・膜蛋白質の結晶化を辻建仁先生の下で学び、X線結晶学を神谷信夫先生の下で学ぶ。岡山大学大学院卒。学振PD (大阪市立大学)、特任准教授 (大阪市立大学複合先端研究機構と人工光合成研究センター) を経る。趣味は、サイクリング、温泉巡り。



ないとう ひさし 内藤 久志 先生 Hisashi Naitow

タンパク質結晶構造解析法を月原富武先生、笠井暢民先生の下で学ぶ。大阪大学大学院卒。蛋白質研究所博士研究員、TSRI Research Associate 等を経る。「化学」といえばウエットラボでの実験... と思っていたのですが、4回生の時、結晶構造解析の研究室に配属。生体分子構造を探る面白さに目覚めました。今は代表者と共に電顕に取り組んでいます。

東北大 多元物質科学研究所



はまぐち たすく 濱口 祐 先生 Tasuku Hamaguchi

大阪市立大 (現大阪公立大) で生物学を、代表者の下でクライオ電子顕微鏡のいろはを学び、東北大・多元研で生物・材料の二刀流。熊野古道で育ち、温泉巡り、日本酒と肴、ビールを愛するクライオ電顕担当者です。



くろかわ ひろふみ 黒河 博文 先生 Hirofumi Kurokawa

京都大院卒。学振海外特別研究員 (トロント大)、同特別研究員 (都立大)、東北大多元研、同医学部を経る。結晶解析を担当。趣味は風景・星景写真。



うなばら だいすけ 海原 大輔 先生 Daisuke Unabara

依頼者のご要望に応えられるよう、安定した装置運転、試料作製・観察技術の向上に努めます。

クライオ電顕、電子回折、AI 測定、トモグラフィー、XFEL 等を駆使